

2026年「高校野球で大切にしているもの」

日本高等学校野球連盟

審判規則委員会

高校野球の連盟旗に描かれたFマークには、連盟（Federation）の象徴であるとともに、私たちが大切にしてきた理念である 三つのF が込められています。

Fair play（フェアプレー）／Friendship（友情）／Fighting spirit（闘志）。

2026年度は、DH制度の採用により試合運営がより配慮が必要となります。だからこそ、選手・指導者・連盟役員・審判委員をはじめ、高校野球に携わるすべての関係者が「三つのF」を行動として体現し、フェアで爽快な高校野球を実現することを、今季の共通目標とします。

（1） Fair play（フェアプレー） — 規則の正しい理解

- ① プレーに合わせたセルフジャッジ（発声・ジェスチャーを含む）をしない
- ② サイン盗み等の疑いを招く行為はしない（走者・ベースコーチ・ベンチを含む）
- ③ 走者の視界を遮る、走路をふさぐ等のアンフェアな守備をしない

（2） Friendship（友情） — 相手への敬意と、高校野球らしいふるまい

- ① 投手が投球動作に入った際の不要な発声は控える（必要な指示は除く）
- ② 過剰なガッツポーズ等、相手の心情に配慮を欠く行為は慎む
- ③ 試合中に過度な挨拶（礼）は行わない（開始・終了時に集約）

（3） Fighting spirit（闘志） — 全力の攻防を支える「テンポ」と「規律」

- ① 攻守交代は迅速に行う（先頭打者・次打者・ベースコーチは速やかに所定位置へ）
- ② 遅延と見なされる不要なけん制はしない
- ③ 捕手の動作は機敏に行う（返球、サイン、道具の着脱など）

以上